

- 問1 徳川家康が創設した江戸幕府において、後に松平定信が主導した「寛政の改革」の背景や内容として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）
- 比叡山延暦寺などの有力寺院と連携し、全国にキリスト教の布教を許可することで海外貿易を促進した。
 - 最澄が比叡山に建立した天台宗の勢力を抑制するため、寺院諸法度を初めて発令した。
 - 関ヶ原の戦いの直後、不安定だった幕府の財政を立て直すために新田開発を全国規模で実施した。
 - 幕府の教育機関である昌平坂学問所で、朱子学以外の講義を禁止して武士の思想統制を図った。
- 問2 次のア～ウに示す文章は、それぞれある歴史的史料の内容を表しています。これらが成立した年代の古い順として最も適切なものを1つ選びなさい。ア：京都の二条河原に掲げられ、混乱した社会情勢や人々の流行を風刺した文書。イ：一揆を防ぐため、農民から武器を取り上げて所有を禁止した法令。ウ：城の無断の修理や新築を禁じるなど、大名を規制するために出された法令。（2023年 宮崎県公立入試 類似）
- ア→イ→ウ
 - イ→ア→ウ
 - ア→ウ→イ
 - イ→ウ→ア
- 問3 田沼意次が商人に対して株仲間の公認を進め、幕府財政の再建を図った理由として、最も適切なものはどれですか。（2021年 宮崎県公立入試 類似）
- 米の生産量が大幅に減少したため、農民からの年貢徴収を全面的に廃止して商業税だけに頼ろうとしたから。
 - 都市に流出した農民を商人に転職させ、商人の数を増やすことで農業生産力を向上させようとしたから。
 - 外国からの貿易収入が増加したため、国内の商業を規制して幕府の貿易独占権を強化する必要があったから。
 - 商業活動の発達に伴い、商人から冥加金などの税を徴収することで、幕府の新たな財源を確保しようと考えたから。
- 問4 江戸時代後期に伊能忠敬が作成した「大日本沿海輿地全図」について、その作成の背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2018年 長崎県公立入試 類似）
- 西洋から輸入した世界地図を翻訳・編集することで、日本周辺の海域や島々の位置関係を整理した地図を作成した。
 - 幕府の命令により全国の諸大名から提出された領内図を繋ぎ合わせることで、全国規模の白地図を短期間で作成した。
 - 実際に自分の足で全国を歩き、歩幅を一定に保つなどの工夫をしながら緻密な測量を行い、科学的な日本地図を完成させた。
 - 樺太が島であることを確認するために北方を重点的に調査し、ロシアとの国境を画定させるための軍事用地図を作成した。
- 問5 江戸幕府は、鎖国体制下でも「四つの窓口」と呼ばれる特定の地域や藩を通じて、周辺諸国や民族との外交・貿易を継続しました。外交・貿易の相手先と、その実務を独占的に担当した藩の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- 朝鮮：薩摩藩、琉球王国：対馬藩、アイヌの人々：松前藩
 - 朝鮮：対馬藩、琉球王国：長州藩、アイヌの人々：土佐藩
 - 朝鮮：松前藩、琉球王国：薩摩藩、アイヌの人々：対馬藩
 - 朝鮮：対馬藩、琉球王国：薩摩藩、アイヌの人々：松前藩
- 問6 1789年に始まったフランス革命において、自由・平等や人民主権、私有財産の不可侵などの理念を唱え、近代市民社会の原理を確立させた宣言を何というか。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）
- 独立宣言
 - マグナ・カルタ
 - 権利の章典
 - 人権宣言
- 問7 徳川吉宗が実施した「上げ米の制」は、幕府の財政収入を増やす一方で、大名側にも配慮した交換条件が設けられていました。その仕組みについて正しく説明しているものを選びなさい。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
- 米を納める代わりに、長崎での貿易を自由に行う権利を与え、商業による利益を認めた。
 - 1万石につき100石の米を納めさせる代わりに、参勤交代による江戸での滞在期間を半年間に短縮した。
 - 米を納める代わりに、大名が幕府から借りていた借金をすべて帳消しにする「裏捐令」を発令した。
 - 1万石につき100石の米を納めさせる代わりに、年貢の取り立てを農民に委ねる権限を与えた。
- 問8 江戸時代に広く普及した農具について、土をより深く耕すことができるよう形状が改良されたことで、作業能率を飛躍的に高め、農作物の収穫量増加に大きく貢献した道具として正しいものはどれですか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）
- 踏車
 - 平ぐわ
 - 唐箕
 - 千歯扱き
- 問9 元禄文化を代表する美術工芸において、金地に色彩が映える装飾性の高い構図を用い、画面の両端に躍動感あふれる風神と雷神を配置し、背景の雲には墨をにじませる技法（たらし込み）が見られる屏風が制作されました。このような作品が生まれた背景や文化の性質として最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
- 鎖国体制下で唯一交流のあったオランダから輸入された、遠近法や明暗法を用いた写実的な油絵の技法を忠実に再現することが推奨された。
 - 経済的に発展した上方の町人たちの好みを反映し、伝統的な題材を大胆な構図と豪華な色彩で表現する、装飾豊かな芸術が好まれた。
 - 地方の農村にまで学問が普及し、農民たちが自らの生活を素朴に描くことで、全国各地の特産物を紹介する図録制作が流行した。
 - 武士社会の権威を象徴するため、一切の無駄を省き、白黒の濃淡のみで自然を描写する精神的な深みを追求する作風が主流となった。
- 問10 参勤交代という制度が、当時の日本にどのような影響を与えたか、その理由を含めた説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- 大名が1年おきに移動することで、各藩の軍事訓練が効率化した
 - 大名の一行が各地を往来することで、街道や宿場が発達し、江戸の文化が地方へ広まった
 - 大名の経済的負担が軽減されたため、農村の改革が進んだ
 - 大名が江戸に不在の間、領地の独立性が高まり、分権的な政治が普及した
- 問11 江戸幕府が、平戸にあったオランダ商館を長崎の人工島である出島に移し、貿易を厳しく管理した主な理由として適切なものはどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- 禅宗の伝播や水墨画の普及を促進し、新しい文化を長崎から広めるため
 - キリスト教の布教を防ぐとともに、貿易の利益や海外の情報を幕府が独占するため
 - オランダ商人と日本国内の武士が自由に交流し、軍事技術を導入しやすくするため
 - 出島を拠点としてオランダ艦隊を組織し、諸外国への侵攻を計画するため
- 問12 江戸時代の政治改革において、徳川吉宗による「享保の改革」と、松平定信による「寛政の改革」の間に位置する時期に行われた政治について、その特徴として正しいものはどれですか。（2018年 秋田県公立入試 類似）
- 質素倹約を徹底し、都市に流れ込んだ農民を村に帰す「旧里帰農令」を出すことで、農業の再興を目指した。
 - 旗本や御家人などの武士を救済するため、借金を帳消しにする「棄捐令（きえんれい）」を発令した。
 - 幕府の権威を回復するため、朱子学以外の学問を幕府の学問所で教えることを禁じる「寛政異学の禁」を定めた
 - 商工業者が組織する「株仲間」を積極的に公認し、彼らから税を徴収することで幕府の財政を立て直そうとした。